



水戸市青少年育成推進会議  
会長 坏 哲男  
水戸市教育委員会事務局教育部生涯学習課内  
水戸市中央1-4-1 ☎029-306-8692



水戸市役所HP  
(水戸市青少年育成推進会議)

# 道 芝

みちしば

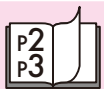
「踏まれても根強く耐え、そっと腰をおろせばやさしく憩わせてくれ、子どもたちを伸び伸びと遊ばせてくれる道芝」

私たちは、明日を担う青少年の健全な育成を図るため、市民の皆様とともに行政と一体となってきめ細かな青少年育成活動を力強く推進しています。

## 青少年若者体験活動事業



## 中学生交流会



青少年  
指導者研修会



社会環境  
向上研修会



「家庭の日」絵画・ポスター  
と作文コンクール



わたしたちの地域⑮  
赤塚中学校区



うちの子  
となりの子

# フクフクドキドキみなであそぼ!

## 青少年若者体験活動事業

企画会議

当日

とき／令和7年8月21日(木)  
ところ／三の丸市民センター

とき／令和7年10月19日(日)  
ところ／水戸市少年自然の家

今年度も中学生が「企画サポーター」として企画会議で活動内容を決め、当日の運営も中学生が中心となっていました。

企画会議では、晴雨どちらにも対応できるように様々なレクリエーションを考え、それに必要な物も準備しました。

当日は、45名の小学生が集まり、初めて出会う仲間たちと綱引きや借り人リレー、ドッジボールなどチームワークを発揮し白熱した試合を繰り広げました。

昼食のおにぎりコンテストでは、自分の好きな食材を使って皆で楽しく自分だけのおにぎりを作り、美味しくいただきました。

また「おにぎりアクション」に参加していることを子どもたちに説明し、多様な世界を認識してもらいました。

館内クイズラリーでもチーム力が試されました。館内各所の問題を解くだけ



ではゴールできません。ホールに戻って皆で最終の解答にたどり着くまで頭を絞りました。

受付直後は不安いっぱいな表情でしたが、帰る頃は笑顔があふれ、充実した活動に満足した様子でした。



おにぎりアクション2025

みとなんでもクラブ(仮)は、2020年11月に開設された水戸の街中にある小さなフリースクールです。ここでは決められたプログラムはなく、スタッフも含め過ごし方は各々に任ざれており、自分なりの居場所を作っています。

講演で、「なにもしない」スタイルを貫いているのは、矢代代表の理念の根底に、子どもに対する深い信頼があるからだと述べられていました。

その後の川野副会長及び会場全体でのトークセッションでは、「子どもの声や成長を待つことはとても難しいけど、見守ることが大切」、「物理



的に期限がある事は、子どもに伝えて理解してもらおう」、「生きていくだけで丸儲けの思いで、子どもを信じて待ち続けてほしい」といったお話がありました。

## 総務広報部会

### 第1回 青少年指導者研修会

演題 「なにもしない」から生まれたもの

講師 フリースクール みとなんでもクラブ(仮)

代表 矢代 貴司 氏

トークセッション

① 矢代 貴司 氏 × 川野邊 洋美 氏

② 矢代 貴司 氏 × 全体で

とき／令和7年8月6日(水) ところ／水戸市役所

テーマ

# 「選挙の現状を改善するには？」 私たちの未来のために」

とき／令和7年12月14日(日) 10時～16時 ところ／水戸市役所

市内の中学生が交流し、意見交換することで、幅広い視野を持ち、社会参加への意欲を高めることを目的に毎年開催しています。



今年も、見川中学校の生徒が、私たちの生活や社会にかかわる「選挙」をテーマに選びました。  
水戸市選挙管理委員会の方から選挙制度についての

説明を聞き、模擬選挙を体験した後、8つのグループに分かれて議論を深め、現状の良い面、悪い面、SNSによる問題等が話題にのぼりました。

交流会の最後には中学生から発表があり、投票率を上げるためには、「幅広い年代に対応したルールづくり」、「選挙の重要性を語る学習会の開催」、「スマホとマイナンバーカードを活用したハイブリッド投票制度の導入」、「移動式の投票所を設ける」などの提案がありました。

参加した生徒からは、「自分事として選挙について考えていきたい」、「学校でみんなと話す場を設けたい」、「二人ひとりが選挙について考えていけば今後の日本

はもっと良くなる」などの振り返りを聞くことができました。



## 第2回 青少年指導者研修会

演題 「水戸五中学区青少年育成会  
創立25周年を終えて」

講師 五中学区青少年育成会 会長 和田 康則 氏

事務局長 川田久仁美 氏

とき／令和7年10月29日(水) ところ／水戸市役所

前半は水戸五中学区青少年育成会の発足当初の苦労話から、地域に定着した広報紙「ごちねっとファミリー」、さらに公式LINEを活用した最新の情報発信手法まで、多様な取り組みが紹介されました。質疑応答では会計管理など、運営の核心に迫る具体的な質問がありました。



後半のグループ協議では6つのグループに分かれ、「学校・地域・子どもたちとの関わり方」などをテーマに、白熱した議論が展開されました。他グループを見学する時間を忘れるほど参加者は協議に熱中し、「地域の大人として今できること」を真剣に模索していました。

# 社会環境向上研修会

とき／令和7年12月20日(土) ところ／水戸市役所

## 「ヤングケアラーって知っていますか？」 ヤングケアラー支援の基礎知識

講師 北海道大学大学院保健科学研究院  
准教授 松澤 明美 氏

地域の大人たちが青少年の健全育成に関わることの大切さを再認識し、何ができるのかを話し合い、家庭や地域における教育力の向上を目的に開催しました。

講師の松澤氏は、一般社団法人日本ケアラー連盟理事、茨城県ケアラー支援に関する有識者委員会委員長を歴任され、研修会等でヤング

ケアラーの問題を多くの人に伝え、考えてもらうため精力的に活動しています。

ケアラー・ヤングケアラーは、家庭内の問題として潜在化しやすいことや、当事者にケア負担の認識が

あまりないこと、周囲の理解不足などにより支援につながりにくいといった課題があります。中学校ではクラスに1〜2名ケアを担っている子どもがいるという

茨城県の実態調査の結果に驚かされました。

また、ケアを担う子どもにやりたくてもできていないことは？と聞くと、多くの子どもが「特にない」と答えています。宿題・勉強時間が取れない、自分の時間が取れない、学校に行きたくても行けない等の声も

上がっています。当事者の多くは、家族の問題なので自分がやっていることは当然のことであり、誰かに相談するほどの悩みではないと考えているようですが、

社会全体にとっても大きな課題になっています。子どもたちが子どもらしく育ち、学び、社会参加できるように支援することが必要です。

ヤングケアラーとその家族の「困りごと」に気付き、地域社会で支えていけるようなまちづくりをするにはどうすれば良いのでしょうか。まずは、周りの子どもや家庭の様子に注意を払い、気掛かりなことがあつたら声を掛けてみてくださ

い。家族以外の人の日常生活話が非常に有効なこともあるようです。皆様の見守

## 有害図書等回収事業(白ポスト)

子どもに見せたくない雑誌、

ビデオ・DVDは「白ポスト」へ

地域・環境部会では、月に1回、市内9箇所を設置している白ポストから有害図書等の回収作業を行っています。子どもに見せたくない雑誌、ビデオ・DVDは「白ポスト」へお願いします。

りがとても大切だと思えます。心配な時は、子育て支援課等に相談してください。

●ヤングケアラーの相談先  
水戸市子ども部子育て支援課  
Tel: 029-232-9111

子どもホットライン  
(茨城県教育委員会)  
Tel: 029-221-8181  
Fax: 029-302-2166

令和7年度回収点数1,700点 (1月末現在)

白ポスト設置場所

No.	名称	設置場所
1	水戸駅南口	桜川1丁目 水戸駅南口東棟自転車駐輪場付近
2	若宮団地	若宮1丁目 若宮団地入口付近
3	中央郵便局前	三の丸1丁目 中央郵便局前
4	水戸駅北口	宮町1丁目 ペDESTリアンデッキ西側階段下
5	赤塚駅北口	赤塚駅北口階段下
6	赤塚駅南口	赤塚駅南口駐輪場付近
7	河和田団地	河和田3丁目 河和田郵便局前
8	桜川団地	見川5丁目 県営桜川団地バス停付近
9	内原駅前	内原駅駐輪場付近



# 「家庭の日」絵画・ポスターと作文コンクール

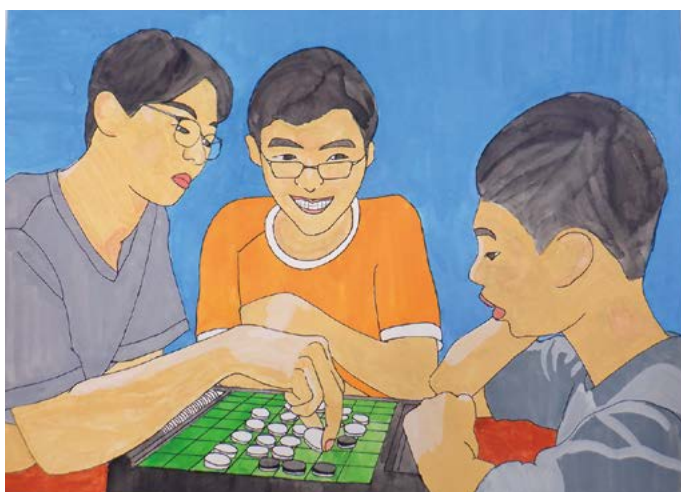
水戸市青少年育成推進会議では、家庭の大切さ、家庭の役割のすばらしさについて改めて考える日である毎月第3日曜日の「家庭の日」の普及啓発に取り組んでいます。その一環として、家族で過ごした思い出やこんな過ごし方をしたいという思いをテーマに絵画や作文を募集しました。906点の応募があり、審査の結果11月15日にイオンモール水戸内原にて表彰式を開催しました。



▲会長賞「かぞくでダンボールのおしつくったよ!!」  
浜田認定こども園 清水 啓真



▲会長賞「家族でセミのかんさつ」 常磐小学校 倉持 日向太



▲会長賞「お兄ちゃんに勝ちたい!!」 三の丸小学校 本田 陽生



イオンモール水戸内原にて展示(令和7年11月14日~11月24日)

## 入賞者一覧 (敬称略)

### 絵画・ポスターの部

#### 👑 会長賞

清水 啓真  
(浜田認定こども園)  
倉持日向太  
(常磐小学校)  
本田 陽生  
(三の丸小学校)

#### 👑 教育長賞

富田真七斗  
(酒門幼稚園)  
吉田 遥彩  
(緑岡小学校)  
堀口 結愛  
(梅が丘小学校)

#### 👑 奨励賞

佐藤 朱莉  
(常磐認定こども園)  
清水 美来  
(梅が丘小学校)  
木幡 春陽  
(千波小学校)  
高野 瑛太  
(第五中学校)

### 作文の部

#### 👑 会長賞

大山紗也乃  
(渡里小学校)  
郡司 結菜  
(大場小学校)  
江幡 紬  
(第一中学校)

#### 👑 教育長賞

前田 健心  
(常磐小学校)  
平賀いち菜  
(双葉台小学校)  
樋口 希依  
(第一中学校)

#### 👑 奨励賞

清水 萌生  
(河和田小学校)  
安嶋 涉悟  
(五軒小学校)  
魚住 龍  
(第四中学校)

# 赤塚中学校区

赤塚中学校区青少年育成会は、青少年の健やかなる成長を図るため、地区住民の連携による総合的な明るい環境づくりを進めることを目的とし、「青少年社会参加部会」「地域・環境部会」「総務広報部会」で活動を行っています。また、三地区親善交流会への助成や支援も行っています。

赤塚中学校区には、赤塚小学校・上中妻小学校・河和田小学校があります。以前は三地区の小学校6年生を集め、赤塚中学校にて「スポーツ鬼ごっこ」を通して、中学校入学に向け交流を深めていきましたが、コロナウイルス感染症流行に伴い開催は見送られていました。



がんばれ!がんばれ!!

昨年度は、上中妻小学校校庭にてコロナ禍以降5年ぶりに「赤塚中学校区三地区親善交流会」を開催しました。再開を機に見直しを図り、輪番で幹事を務め、6年生だけではなく、全学年を対象としました。開催場所についても、駐車場の問題等もあるので、赤塚中学



どれにしようかな…

校ではなく、幹事地区にてその都度決めることにしました。今年度は河和田地区が幹事で、河和田小学校校庭にて、「移動式玉入れ」「宝探しゲーム」「綱引き」「大人数だるまさんが転んだ」を行い、またキッチンカーを呼んで子どもや保護者も楽しんでいました。今後子どもたちの健全育成のため、地区住民と連携・協力して活動をしていきたいと思えます。

## 君もサブリーダーになろう!

### 水戸市サブリーダーズ会とは…

水戸市に居住又は市内の高等学校に通う高校生によって組織されるボランティア団体です。

水戸市教育委員会の指導のもと、様々な団体や市などの事業の運営補助や、会員自ら事業の企画・準備・運営を行っています。

入会を希望する方は、水戸市生涯学習課までご連絡ください。(年会費350円) 生涯学習課(029-306-8692)



詳細はこちら▶



### ○主な自主事業

#### ☆サブの宿題おたすけ隊

小学生に、夏休みの宿題の手助けをする勉強会です。

#### ☆中高生カフェ

中学生に、自分の通う高校の魅力や受験勉強の仕方を教える進路相談会です。

#### ☆サンタさんからのたからもの

小学生とその保護者を対象にクリスマスならではの工作をします。



# うちの子どもとわが子のこども



「ともに生きる豊かな地域社会」とは、一体何でしょう。ニッポン一億総活躍プランが打ち出されてから10年を迎える今、だれもが自分らしく活躍できる場が存在し、認め合いながら、支え合いながら、心身ともに豊かな暮らしが実現できているか一人一人が振り返る時期に来ていると考えます。

## だれにでもある役割

とりわけ、子どもたちにとつての「真の豊かさ」を振り返る

とき、いつも思い出す他市のエピソードがあります。

生活困窮世帯の子どもたちの学習や生活面でのサポートを行う居場所においての出来事。ある日、今日の予定を黒板に書く役割をひとりの子にお願いしました。初めてだったので、驚き

とためらいを隠せないまま、おぼつかない足取りでみんなの前に出て、時間をかけて丁寧に、しっかりと板書してくれました。別れ際に、普段あまり話さないその子から、「僕は黒板に字を

書くことが夢だったんです。黒板に字を書く役割は、できる子だけだと思っていました。今日हतつてもうれしかったです。ありがとうございました」そして、いつもより少し頼もしい背中で帰っていききました。

普段から皆さんのまわりにいるその子、かもしられません。その子の役割が見えるメガネを持ちたいものです。

(水戸市社会福祉協議会

事務局長 多田厚史)

## 「第10回記念水戸黄門漫遊マラソン」応援記

水戸黄門漫遊マラソンの応援に行ってきました。今年は、第10回という記念すべき大会となり、多くのランナーが出場しました。あいにくの雨となりましたが、雨に負けないくらいの熱気にも包まれていました。雨に濡れながらも色とりどりのウェアを身にまとい、力強く走ってい

くランナーの姿がとても印象的でした。沿道では、傘を差しながら声援を送る人や旗を振る姿が見られ、とても温かな雰囲気を感じました。厳しい天候の中でも最後まで走り抜こうとする姿に、私達は勇気と感動をもらいました。

(梶正憲 記)



## 青少年育成推進会議運営にご協力ありがとうございました。

### 令和7年度の賛助会員

#### ○法人・団体の部

- 国際ソロプチミスト水戸
- 水戸更生保護女性会
- 公益社団法人水戸青年会議所
- 水戸ライオンズクラブ
- 水戸東ライオンズクラブ
- 水戸市スポーツ協会
- 水戸市スポーツ少年団本部
- 水戸西ライオンズクラブ
- 認定NPO法人水戸こどもの劇場
- 茨城県信用組合
- 水戸南ロータリークラブ
- 水戸ロータリークラブ
- 水戸さくらロータリークラブ
- 水戸西ロータリークラブ
- 有限会社水戸トータルオフィス
- 水戸東ロータリークラブ
- 中央労働金庫
- 有限会社湖南家具販売
- 株式会社光和印刷

#### ○個人の部

(敬称略・順不同)

- 瀧澤 恒哲
- 山崎 洋哉
- 川野 史哉
- 齋藤 史哉
- 石川 史哉
- 多田 史哉
- 後田 史哉
- 中村 史哉
- 赤岩 史哉
- 小嶋 史哉
- 檜山 史哉
- 今村 史哉
- 関山 史哉
- 佐藤 史哉
- 齊藤 史哉
- 本郷 史哉
- 岡下 史哉
- 岡崎 史哉
- 白谷 史哉
- 萩野 史哉
- 高野 史哉
- 角野 史哉
- 藤原 史哉
- 野村 史哉
- 中村 史哉
- 綿引 史哉
- 綿引 史哉
- 佐々木 史哉
- 飯上 史哉
- 井上 史哉
- 井上 史哉
- 井上 史哉
- 生井 史哉
- 瀨谷 史哉
- 谷川 史哉
- 小谷 史哉
- 小谷 史哉
- 梶山 史哉
- 上野 史哉
- 小上 史哉
- 上野 史哉
- 関野 史哉

※本人の意向により掲載の方もいらっしゃいます。

# 五中学区青少年育成会

～地域親ネットワークを活用～  
ごちねっとLINE を開設



中学生の主張を聴いて 一緒に考えてみませんか

## 第40回 水戸市少年の主張大会

毎年、市内の中学生が日頃感じたことや考えていることを主張文にまとめ、発表する「水戸市少年の主張大会」を開催しています。

主催／水戸市教育委員会 水戸市青少年育成推進会議  
“社会を明るくする運動”水戸市推進委員会



水戸市公式  
YouTube チャンネルで

**公開中!**



QRコードを読み込んで聴いてみよう!  
<https://www.city.mito.lg.jp/site/education/30841.html>



毎月11日にイオンスタイル水戸内原及びイオン専門店でお買い物をすると黄色いレシートが発行されます。1階の「水戸市青少年育成推進会議」の箱にレシートを投函してください。多くの皆様のご参加、ご協力をお待ちしております。(白いレシートでも可)

井	高	大	山	中	岡	檜	小	戸	綿	清	本	岡	石
川	野	高	岸	村	本	山	柴	崎	引	水	郷	崎	野
健	智	は	純	典	厚	祐	聡	浩	祐	き	充	奈	
一	美	づ	子	子	二	子	子	力	子	子	子	緒	
(内	(常	(笠	(双	(見	(赤	(四	(緑	(国	(飯	(一	(育	(育	
原	澄	原	葉	川	塚	中	岡	田	富	中	成	成	
			台	川	中	岡	田	富	中	成	成	者	

編集委員 (○委員長)

(K・H)

今年度も多くの子どもたちや会員の皆様のご協力、ご参加をいただき、有意義な活動ができました。その活動は、会費を納めてくださる皆様、取りまとめてくださる皆様、取らなくてくださる皆様、取りまわしてくださる皆様、等々、多くの方々のご支援により成り立っています。改めて、皆様に深く感謝申し上げます。更にきめ細かな青少年育成活動を推進できるように、広報活動を通して励みたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

編集後記